



一 はじめに

「国際理解教育講座」は、国際化時代を迎え、国際性豊かな児童・生徒を育成するために、国際理解教育に対する識見と指導力を高めることを目的として、平成六年度から、教育センターの専門研修講座として開設されているものです。

研修者は、小学校・中学校・高等学校・養護学校の先生方で、希望された方の中から受講者を決定しています。

二 講座内容

「国際理解教育講座」は研修者の活動を多く取り入れた参加型の研修形態で、演習や協議を中心に構成しています。

この講座は、国際理解教育の在り方やその改善・充実について考えることを主眼とし、内容としては、

- 国際理解教育の実践に学校全体で取り組んだ学校の実践発表
- 福島大学のアジア出身の留学生との交流
- 国際理解教育を進めている我が国の代表的な民間機関であるERIC（国際理解教育センター）の講師によるワークショップを中心にした演習等を実施しています。

平成九年度の講座内容は次のようになっています。

一 日 目

- 講義 「国際理解教育の目指すもの」
- (1) 国際理解教育とは
 - (2) 国際理解推進の計画
 - (3) 福島県の取り組みの概要
 - (4) 福島県における国際化の進展
- 実践報告 「国際理解教育の取り組み」
（いわき市立汐見が丘小学校教諭 岡部明子）

二 日 目

- (1) 本校における国際理解教育
- (2) 交流事業実践報告
- (1) 生まれ/小さな親善大使
- (2) 生まれ/小さな外交官 E. Iwakaki.
- (3) われら おなじアジアのなかま
- (3) 今後の取り組み
- (4) 質疑応答

- 演習・協議 「国際理解教育の進め方(1)」
福島大学の留学生四人を招き、研修者との交流を図りました。留学生の出身国は、中華人民共和国二名、マレーシア・スリランカ各一名でした。
- (1) 留学生の紹介
 - (2) 留学生からの一言
 - (3) 留学生との交流
- 講義・演習 「これからの国際理解教育を今から始めよう」

(ERIC事務局長 角田尚子)